開業10年を迎えて

札幌市医師会
羊ヶ丘病院
倉　　秀治

2010年４月に榊山悠紀士理事長より羊ヶ丘病院を継承、開業して、この４月で10年が過ぎました。

開業前は、大学で10年あまり教員をしていていました。開業のノウハウは０でした。

開業にあたっては、尊敬する大学の恩師であった薄井正道院長と共同運営をしている現院長の岡村健司先生と秀逸な事務長とともにフレッシュな気持ちでスタートを切りました。

できることを一所懸命こなしました。思えばハードな生活でしたが、まっすぐ進めました。以前と異なり、診療に多くの時間をさける喜びも感じていました。

開業丸２年で札幌ドームの向かいにあった旧病院から厚別区青葉町の現在地に新病院を建設して移転しました。病院名は羊ヶ丘病院のままです。２年間で愛着が膨らんでいました。

そこから８年。いろいろなことがありました。多くの人と出会い、別れもありました。ある面では急速に、またある面では慎重に体制を構築して今日に至っています。上手くいかなかったこともありましたし、反省点も多々あります。多くのことを学びました。最近、深いため息が多いといわれます。

趣味や特技は、ありません。尊敬できる人といるとホッとします。2019年９月26日～27日に自分の専門分野である第44回日本足の外科学会学術集会を札幌で開催させていただきました。過去最多の演題数とご参加をいただき、楽しく充実したものになりました。運が良かったと思います。

まだまだ、専門分野の奥は深く、一体どこまで進歩するのか？　どこまで突き詰められるかを考えると、楽しくて、つい、しゃべり過ぎてしまいます。後輩に嫌われないようほどほどにしなければと反省しています。

多くの方々のご支援でここまでくることができました。今は、信頼するスタッフとともに医療に携われることに感謝し、充実の日々を過ごしています。

新病院に移転した時の記念撮影（2012年７月）

第44回日本足の外科学会学術集会を終えて
（於：ロイトン札幌。羊ヶ丘病院スタッフと札幌医科大学足の外科の先生方と）